

# さくらに木

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

**学校教育目標**

- ・本気で勉強しよう
- ・心をみがき、体をきたえよう
- ・人のためになろう

在籍児童数664名 学級数25

## 地域、保護者の皆様に支えられた50年

校長 あさだ しゅんすけ 浅田 俊哉

10日ほど前にコートを下ろしました。11月中旬ころまでは、昼間は20度を超え、気温が上がる日もありましたが、最近では、朝夕の出退勤時はコートなしでは厳しくなりました。本校の用務さんが落ち葉を掃きながら、「敷地内の落葉樹の落葉の具合は例年に比べ遅いですね。」と話していました。関東の中期予報では、寒暖差はあるが12月の平均気温は例年に比べ高いという予報です。

さて、11月30日は、午後より創立50周年記念式典を開催します。本式典のあいさつ文の一部をここで紹介したいと思います。

本校は昭和50年に鴨川小学校として開校しました。4月1日にはまだ校舎は完成しておらず、日進小学校の一室で当時赴任された先生方が集まり開校し、新学期に向けた準備を始められました。3日後の4月4日に校舎が完成し、児童の机、椅子などの備品等を運び込む作業を当時の大宮市教育委員会の方々の助けも借りながら行い、8日の始業式、入学式を迎えることができました。開校当時の児童数は886名、23学級でのスタートでした。また、2か月後の6月18日に校庭の整地が終わり、ようやく、外遊び、屋外での体育の授業ができるようになりました。それを記念し、この6月18日を開校記念日と決めました。明けて昭和51年1月1日に、地域の方々の強い要望により、学校名を宮前町の町名より、宮前小学校と改名しました。この年の暮れに校章が制定され、また翌年昭和52年に校歌が制定されました。そして、開校から5年後、体育館竣工に伴い、PTAが中心となり、地域の自治会を巻き込んだ大規模なバザーを開催し、その収益で緞帳、舞台幕などの用具をそろえていただきました。また、本校のシンボルでもある校庭西側の築山も、地域の協力を得てPTAが行う資源回収のその年その年の収益により、土が盛られ、改築を重ねられ、今の形に至ります。毎年、おやじ会の方々がタイヤや土管等のペンキ塗りをしてくださいます。このように、地域、保護者の本校への手厚い協力、支援は創立当初からのものです。現在も保護者の方々の盛んなPTA活動が実施され、各自治会等の活発な地域活動、行事にお声掛けいただき感謝の意に堪えません。

また、午前中の記念公演「善ちゃんのサイエンスショー」は、保護者四十数名の方にお申込みいただきました。人数が多ければ、別室にお越しいただき、中継でご覧いただこうと思っておりましたが、どうにか入れそうな人数なので、体育館で子どもたちと一緒に参観ください。上履き、座布団を用意していただき、暖かい服装でお越しください。

さいたま市では、令和8年4月に「学びの多様化学校」の開校を予定しております。詳しくは後日配布のお手紙をご覧ください。また、保護者向けの解説動画も配信予定となっております。